

黙想(黙祷)

招詞 わたしは新しい心をあなたがたに与え、
新しい靈をあなたがたの内に置く。
これは主の御業、わたしたちの目には驚くべきこと。
(『讃美歌 21』93-1-49)

讃美歌 7 (ほめたたえよ、力強き主を)

主の祈り

讃詠 28 (み栄えあれや)

聖書 使徒言行録 2章22節～28節
(新約 216頁)

信仰告白 使徒信条

メッセージ 「ナザレの人イエスこそ」

多田玲一牧師

祈祷 ※それぞれ自由にお祈り下さい

讃美歌 342 (神の靈よ、今くだり)

頌栄 27 (父・子・聖靈の)

黙想(黙祷)

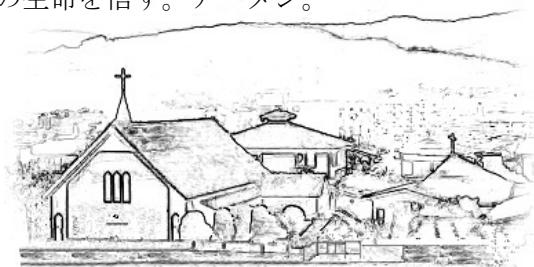
◎ 讳美歌は歌詞を読むだけでも結構です。

【主の祈り】 (『讃美歌 21』 93-5-A)

天にまします我らの父よ、ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。
み国を来(きた)らせたまえ。
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ。
我らの日用(にちよう)の糧(かて)を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、悪より救い出(いだ)したまえ。
国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり。
アーメン

【信仰告白 使徒信条】 (『讃美歌 21』 93-4-A)

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖靈によりてやどり、処女マリヤより生れ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがへり、
天に昇り、全能の父なる神の右に坐したまへり、
かしこより來りて、生ける者と死ねる者とを審きたまはん。
我は聖靈を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、
身体のよみがへり、永遠の生命を信ず。アーメン。



日本基督教団 福岡女学院教会

牧師 多田玲一

協力牧師 青木麻里子、大島一利

〒811-1321 福岡市南区柳瀬1丁目41-32

TEL 092-591-5627 (Fax 兼)

教会ホームページ <http://www.fukujoch.com/>



(教会創立 1946年6月2日)

6月11日 使徒言行録 2章22節～28節 (22節)

- 22 イスラエルの人たち、これから話すことを聞いてください。
ナザレの人イエスこそ、神から遣わされた方です。神は、イエスを通してあなたがたの間で行われた奇跡と、不思議な業と、しるしとによって、そのことをあなたがたに証明なさいました。あなたがた自身が既に知っているとおりです。
- 23 このイエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存じのうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまったのです。
- 24 しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかったからです。
- 25 ダビデは、イエスについてこう言っています。
『わたしは、いつも目の前に主を見ていた。
主がわたしの右におられるので、
わたしは決して動搖しない。』
- 26 だから、わたしの心は楽しみ、
舌は喜びたたえる。体も希望のうちに生きるであろう。
- 27 あなたは、わたしの魂を陰府に捨てておかず、
あなたの聖なる者を
朽ち果てるままにしておかれない。』
- 28 あなたは、命に至る道をわたしに示し、
御前にいるわたしを喜びで満たしてください。』

※聖書は本文は全て、日本聖書協会『聖書 新共同訳』